

美濃加茂市 みんなの新庁舎 かわらばん vol. 1

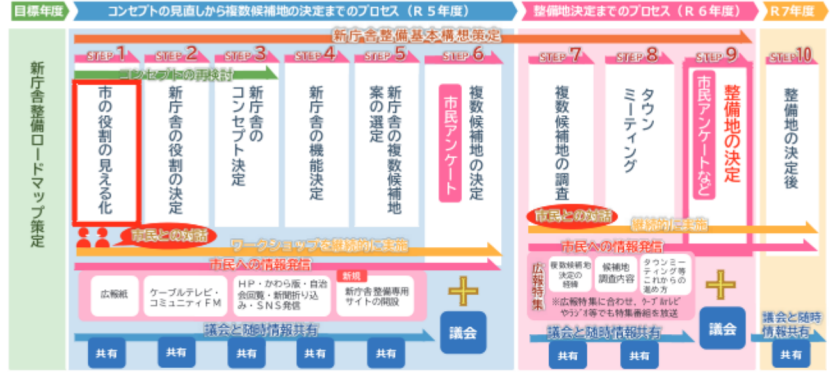
第1回市民
ワークショップ

みんなの新庁舎 第1回市民ワークショップを開催しました！

新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、基本構想を見直すことといたしました。

新庁舎整備基本構想の再策定は「新庁舎整備ロードマップ」に沿って進めていきます。

今回、みんなの新庁舎第1回市民ワークショップを開催いたしましたので、その結果をお知らせいたします。



【今後の新庁舎整備の進め方（新庁舎整備ロードマップより）】

第1回は7月23日（日）、26日（水）、29日（土）に開催しました。今回はSTEP1「市の役割の見える化」を行うため、「10年後の市の役割」をテーマに、事前応募頂いた合計88名の参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。おでかけワークショップは9月6日時点で9回実施し、合計152名の方と意見交換をさせていただきました。ワークショップ後に実施したアンケートの回答結果については、回答いただいたうちの89%の方が「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ」「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ」「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった」と回答し、市の役割について多くの市民の皆様と共通認識を持つことができました。



「10年後の市の役割」についての代表的な意見

- ① 安心安全なまちづくりをする存在であること
- ② 子どもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

<p>① 市民に寄り添い、まもる行政の存在</p> <p>市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会</p>	<p>② 地域のまとまり</p> <p>自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識</p>	<p>③ 魅力ある市をつくる</p> <p>子ども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流</p>	<p>④ 産業振興</p> <p>企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用</p>	<p>⑤ 安心安全なまち</p> <p>防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る</p>	<p>⑥ 便利なまち</p> <p>DX（デジタル化）推進・交通・連携・スムーズな行政サービス</p>
--	---	--	--	---	---

ワークショップ参加者の主なご意見は裏面をご覧ください。

新庁舎整備の最新情報はこちら <https://minokamochosha.jp/>

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課



新庁舎整備
情報サイト

【第1回市民ワークショップ参加者の主なご意見】

①市民に寄り添い、まもる行政の存在	<ul style="list-style-type: none">●市と市民の協働<ul style="list-style-type: none">・市と市民が協働する（市民のつながりを強化する）●声が届く<ul style="list-style-type: none">・市民や地区の希望を公的機関として、限られた財源の中でできる限りきいてくれる存在。・困った時にスムーズに助けてくれる存在。・市民に寄り添う市の職員。●福祉・厚生・多文化共生<ul style="list-style-type: none">・市民の生活を守る・護る存在・介護や健康を安心して提供すること。・こどもや子育て世代から高齢者・障がい者が共存できるまち。●議会<ul style="list-style-type: none">・市議員の定数を減らす。・市議員、若い議員、女性議員の定数の決定。
②地域のみとまり	<ul style="list-style-type: none">●自治会・まちづくり協議会<ul style="list-style-type: none">・自治会が減ることへの対応・各地域のまちづくり協議会が活発に活動することで、まちの活性化をはかる。●人口減による機能低下への対応<ul style="list-style-type: none">・美濃加茂市に住む人が減り、街の機能が低下することへの対応●まちづくり意識<ul style="list-style-type: none">・若い人達が市を作っていくことが必要。・生きがいを持って暮らせるまちづくり。
③魅力ある市をつくる	<ul style="list-style-type: none">●こども・若者・挑戦する人を支援する<ul style="list-style-type: none">・こどもの健康を守る存在であってほしい。・大人たちが美濃加茂市についてよく考える姿を見て、こどもたちも美濃加茂市への愛着がわくような市・挑戦したい人を全力で応援する。●文化や自然との共生<ul style="list-style-type: none">・新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）としたい。●人口増<ul style="list-style-type: none">・人口が増加するような魅力のある市としたい。・こどものある世帯が増えるような市にする。●地域の盛り上げ<ul style="list-style-type: none">・地域が盛り上がるイベントの企画（季節問わないイベント）●憩い・交流<ul style="list-style-type: none">・市民が憩いの場として使える場所がほしい。●その他<ul style="list-style-type: none">・美濃太田駅を美濃加茂駅と変えることで市をPRできるとの意見がある。・高齢者が自動車がなくとも（移動手段がなくとも）買い物ができる。
④産業振興	<ul style="list-style-type: none">●企業・雇用<ul style="list-style-type: none">・企業と連携をして雇用を生むことを望んでいる。●農業・地元産業<ul style="list-style-type: none">・農業や林業の後継者がおり、地元の産業が続く状態を求めている。●税収アップ<ul style="list-style-type: none">・工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。・工場誘致に力を入れてほしい。
⑤安心安全なまち	<ul style="list-style-type: none">●防災・生活を守る・命を守る<ul style="list-style-type: none">・市民を守るために庁舎を安全、安心な場所に整備してほしい。・安心安全に使える場所として公共施設（学校・体育館・文化会館等）の整備が必要・災害時に市民の生活を守ることが最も重要である。・安心して暮らせる安全なまちづくりが必要である。・防災に強い体制づくりが必要である。
⑥便利なまち	<ul style="list-style-type: none">●DX（デジタル化）推進<ul style="list-style-type: none">・市の手続き等のデジタル強化をはかり、市のサービスを便利に利用できるようにする。・デジタル化を推進して、オンライン手続きやハンコ廃止等で市役所に出向かず申請できる。●交通<ul style="list-style-type: none">・高齢者が来やすい場所に市役所が欲しい。●連携・スムーズな行政サービス<ul style="list-style-type: none">・市役所機能を1か所に集約して、使いやすいようにしてほしい。・枝分かれした窓口（案内たらいまわし）ではなく、1つの窓口でわかるようにしてほしい。・市の行政サービスについて、周知してほしい。●コンパクトな新庁舎<ul style="list-style-type: none">・新庁舎は、機能性をコンパクト（県庁、他市はスッキリした庁舎になっている）とする。・新庁舎は、ムダな機能はつけない。

みんなの新庁舎 第2回市民ワークショップを開催しました！

7月下旬に開催した第1回市民ワークショップでは皆さんから市の役割についてご意見をいただきました。今回、新庁舎整備ロードマップに沿って、第2回市民ワークショップを開催しましたので、その結果をお知らせいたします。

第2回市民ワークショップのテーマである「新庁舎の役割」・「コンセプト」については、1,500人を対象とした市民アンケートでもお聞きし、市民全体の傾向を把握します。

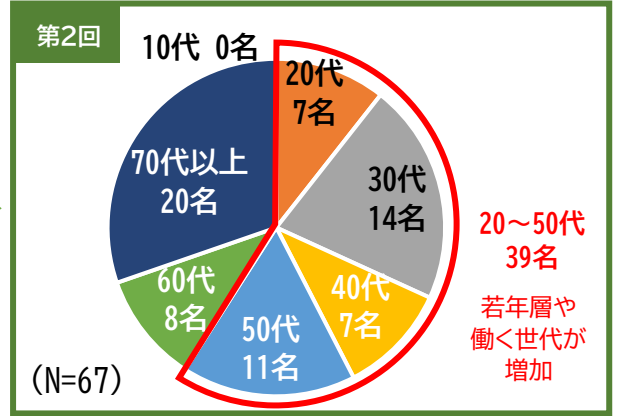
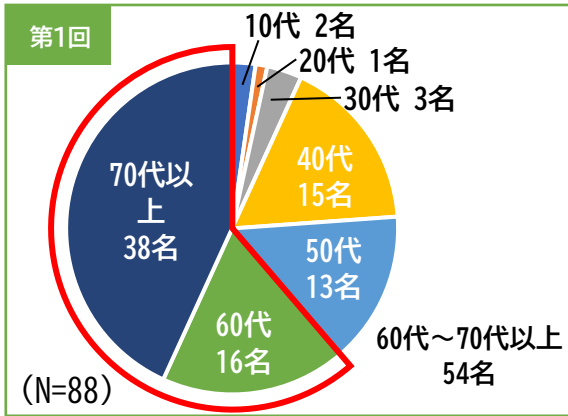
12月にはアンケート結果も踏まえ、STEP4「新庁舎の機能」・STEP5「新庁舎の複数候補地案」についての第3回市民ワークショップを行います。



【新庁舎整備ロードマップ】

第2回市民ワークショップ 実施状況・参加者数

- 第2回は9月24日(日)、25日(月)、30日(土)に開催しました。今回はSTEP2「新庁舎の役割」、STEP3「新庁舎のコンセプト」をテーマに、事前応募いただいた合計67名の参加者のみなさんと意見交換を行いました。
- 第2回は、民間の店舗などにもポスターを貼り、より幅広い世代の方にお越しいただけるよう周知した結果、第1回と比較し、若年層や働く世代が増加しました。



STEP2 「新庁舎の役割」 概要

- 第1回市民ワークショップでいただいた「市の役割」についてのご意見をベースに、新庁舎に必要な役割を考えました。

前回 ■ 第1回市民ワークショップの結果「市の役割」

<p>① 市民に寄り添い、まもる行政の存在</p> <p>市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会</p>	<p>② 地域のまとまり</p> <p>自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識</p>	<p>③ 魅力ある市をつくる</p> <p>こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流</p>	<p>④ 産業振興</p> <p>企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用</p>	<p>⑤ 安心安全なまち</p> <p>防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る</p>	<p>⑥ 便利なまち</p> <p>DX(デジタル化)推進・交通・連携・スムーズな行政サービス</p>
--	---	--	--	---	---

STEP2 全体の傾向

- 「新庁舎の役割」について、窓口対応や相談機能の充実に関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点としての対応や情報提供に関するご意見、および連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。
- 「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」、「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等、相反する意見も出されました。

代表的なご意見は裏面➔



今回 STEP2【代表的なご意見】(抜粋)

- こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、**どんな人でも受け入れられる**
- 色々な事情がある方の**プライバシーが守られて、安心して相談**することができる
- 新庁舎に行かなくても、申請等の**手続きがオンライン**でできる
- **市職員が働きやすく、生き活き**できる
- 用事が無くても、**誰もが集い交流**ができる
- **まちのシンボル**となる、市の中心的存在
- **柔軟に使える庁舎**で、時代や環境の変化に対応できる
- 日常・災害時のどちらでも**情報提供**ができる
- 必要最低限の行政機能を持ち、**コストがかからない**
- **災害時の拠点**として、緊急時の対応ができる

STEP3 「新庁舎のコンセプト」概要

- ・ 新庁舎の役割を果たすためのコンセプトを考えました。(下記抜粋)

STEP3 全体の傾向

- ・ すべての市民のサポートを円滑に行うことや、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。
- ・ 一方で庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

STEP3【代表的なご意見】(抜粋)

- **いつでもだれでも相談**できる頼りになる新庁舎
- **気軽に集いつながる**新庁舎(行政サービス以外の利用を含む)
- **新しい時代に対応**できる**未来**を見据えた新庁舎
- 市民の暮らしを守る**安心安全**な新庁舎
- 必要十分で**シンプル**なコンパクト新庁舎(交流拠点は他の公共施設へ)
- **みんなが使いやすい心と身体**のバリアフリー新庁舎
- 美濃加茂の**自然を活かした心地よい**新庁舎
- **地域の中心**となる、**シンボリック**な新庁舎
- **職員が生き活き**できる**働きやすい**新庁舎

第2回市民ワークショップまとめ

第2回市民ワークショップのご意見をまとめると、以下の通りです。

- ・ すべての市民が円滑に行政サービスや相談が受けられること(「市民に寄り添い、まもる行政」・「便利なまち」の実現)や、災害時の拠点となること(「安心安全なまち」の実現)、これらを担う職員が働きやすい環境であることが求められています。
- ・ 様々な人が共存するため、人々が交流することも求められている一方、「シンプルで必要最低限」といった、相反する意見も出されています。
新庁舎はどこまでの役割を担うべきか、連絡所の機能強化やほかの場所で補えることはないか、などについても考える必要があります。

新庁舎の役割・コンセプトの決定および 第3回市民ワークショップを開催しました！

第2回市民ワークショップまでのご意見を踏まえ、市民全体の傾向を把握するため、1,500人を対象とした市民アンケートを行いました。今回は、ワークショップ・1,500人市民アンケートを踏まえ、新庁舎の役割・コンセプトを決定しましたのでお知らせいたします。

また、令和5年12月に「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」をテーマに第3回市民ワークショップを開催しました。今後は、「新庁舎の機能決定」「複数候補地の決定」に向け、4,000人を対象とした市民アンケートを行う予定です。

美濃加茂市

みんなの新庁舎
かわらばん vol.3

新庁舎の役割・
コンセプトの決定
第3回市民
ワークショップ

新庁舎の役割・コンセプトに係る市民アンケート（対象1,500人）概要

美濃加茂市在住の満15歳以上のうち1,500人を対象とした市民アンケートを、令和5年11月に実施し、607人の市民の皆様にご回答いただきました。（回答率40.5%）

アンケートでは、市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の役割・コンセプト等について、市民全体の傾向を把握しました。

新庁舎の役割

Q. 新庁舎の役割として、重要と思う項目の番号に○をつけてください。 ※回答率20%以上の項目を記載

1位	子どもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる	27.8%
2位	平日に働く人も頼りやすい	26.4%
3位	申請や相談がワンストップで対応でき、わかりやすい窓口対応	25.4%
4位	駐車場が広く、車で来庁しやすい	24.4%
5位	災害時の拠点として、緊急時の対応ができる	24.2%
6位	新庁舎に行かなくても、申請等の手続きがオンラインでできる	21.4%

新庁舎のコンセプト

Q. コンセプトとは、庁舎を具体的に形づくる上で、基本となる考え方のことです。新庁舎のコンセプトとして、重要と思うキーワードに○をつけて下さい。

※回答率30%以上の項目を記載

1位	いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎	47.1%
2位	市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎	42.7%
3位	新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎	39.4%
4位	みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎	30.1%

新庁舎の役割・コンセプトの決定

第2回市民ワークショップのご意見や1,500人市民アンケートの結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

Concept
新庁舎のコンセプト

市民の **安心** な暮らしを守る



未来 を見据えた新庁舎



8つ

の役割

安心

- 誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される
- 子どもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる
- 災害時の拠点として、緊急時の対応ができる
- 業務効率の向上につながる職場環境の充実



未来

- 環境の変化に対応できる庁舎
- 平日に働く人も頼りやすい
- 申請等の手続きがオンラインでできる
- 行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎



新庁舎整備の最新情報はこちら

<https://minokamochoша.jp>

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課



みんなの新庁舎
ポータルサイト

STEP4 「新庁舎の機能」 概要

第3回市民ワークショップでは、STEP2で出された主な「新庁舎の役割」に対する「新庁舎の機能」を、例をもとにご意見を出していただきました。

全体の傾向として、施設や設備のハードとしての機能だけではなく、職員同士や自治体同士の連携や市民同士の交流、市民と職員の関わり方に関するご意見が多く出されました。主な意見は以下の通りです。

主な意見

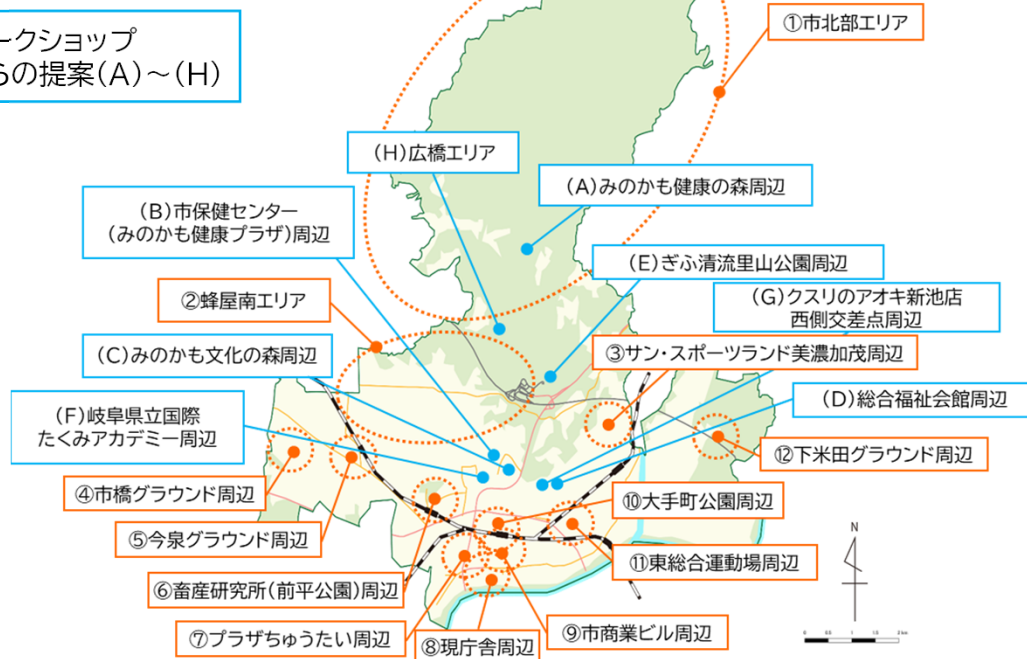
- 「働きやすい環境」に対する機能について
庁内の縦割りをなくし、横のつながりを大切にできることといった意見が出されました。
- 「災害時の拠点」に対する機能について
拠点とするための停電対策や防災機能に加え、連絡所等の市内他拠点や周辺自治体との連携を図ることという意見が出されました。
- 「デジタル化」に対する機能について
デジタル化に賛成する一方で、デジタルが苦手な人も困らない仕組みやデジタルに馴染んでいけるような機能を求める意見が出されました。

STEP5 「新庁舎の複数候補地案」 概要

市内全域における立地の条件や**主な市有地周辺のエリア**(オレンジ)をもとに「新庁舎の複数候補地案」を考えていただきました。また、市民の方から**候補地の提案**(水色)をしていただきました。候補地はワークショップや今後予定している市民アンケートの意見を踏まえ、決定する予定です。

市有地を中心とした
候補地案①～⑫

ワークショップ
参加者からの提案(A)～(H)



第3回市民ワークショップまとめ

第3回市民ワークショップのご意見をまとめると、以下の通りです。

- ・「新庁舎の機能」については、全体の傾向として、施設や設備のハードとしての機能だけではなく、職員同士や自治体同士の連携や市民同士の交流、市民と職員の関わり方に関するご意見が多く出されました。
- ・「新庁舎の複数候補地案」には、「災害に対する安心感」「市内全域や人口集中地区からの利便性」「土地の取得費や建設費」の観点からのご意見が多く出されました。利便性については公共交通機関だけでなく、自家用車での来庁を想定し、駐車場用地が周辺にあるかについても議論がされました。
- ・市民からの提案として、施設の相互利用や利用者の利便性向上のため、既存施設(みのかも健康の森、市保健センター(みのかも健康プラザ)、みのかも文化の森、総合福祉会館、ぎふ清流里山公園、岐阜県立国際たくみアカデミー)周辺などが提案されました。

今後は「新庁舎の機能決定」「複数候補地の決定」に向け、市民4,000人を対象とした市民アンケートを行い、市民全体の傾向を把握します。

市民4,000人アンケートの実施および

新庁舎の機能・複数候補地を決定しました！

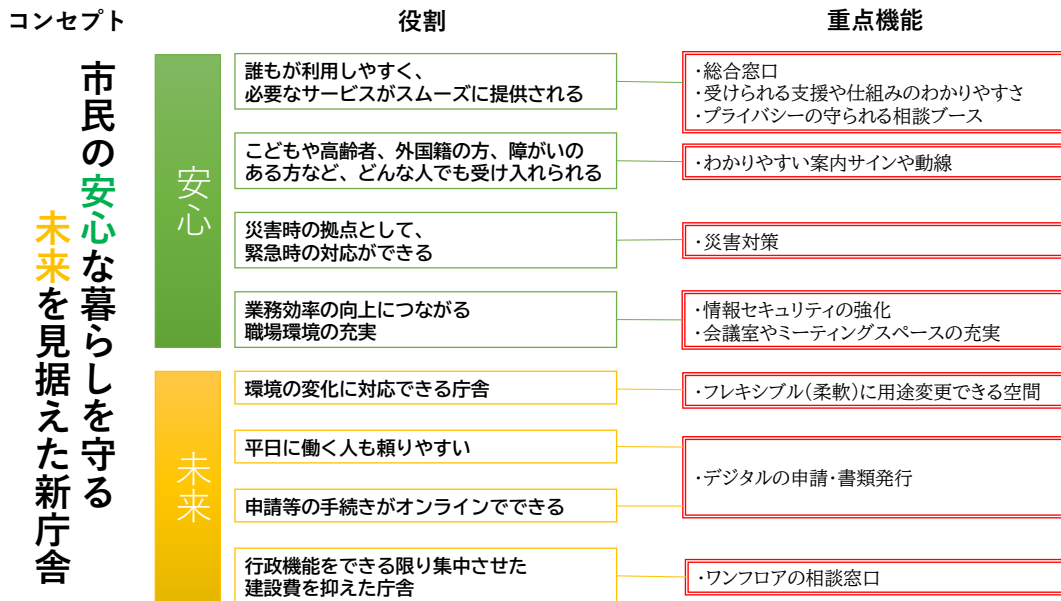
市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の機能・複数候補地案について、市民全体の傾向を把握するため、市民4,000人アンケートを実施しました。また、市民ワークショップ・市民4,000人アンケート・職員ワークショップ・職員アンケートを踏まえ、新庁舎の機能・複数候補地を決定しましたのでお知らせいたします。今後は、複数候補地において新庁舎立地に関する可能性調査を行った後、市民の皆さんと対話し情報共有を図るために、各8地区を回る「タウンミーティング」を行い、その後に整備地の決定を行う予定です。

美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.4
市民4,000人
アンケート/
新庁舎の機能・
複数候補地の決定

STEP4「新庁舎の機能決定」

ワークショップやアンケートにより、市民及び職員の目線で必要な機能を収集・整理し、新庁舎の機能を決定しました。必要だと思える機能として回答の多い機能を優先度(重要度)の高いものとして、重点機能と位置づけ整理しました。

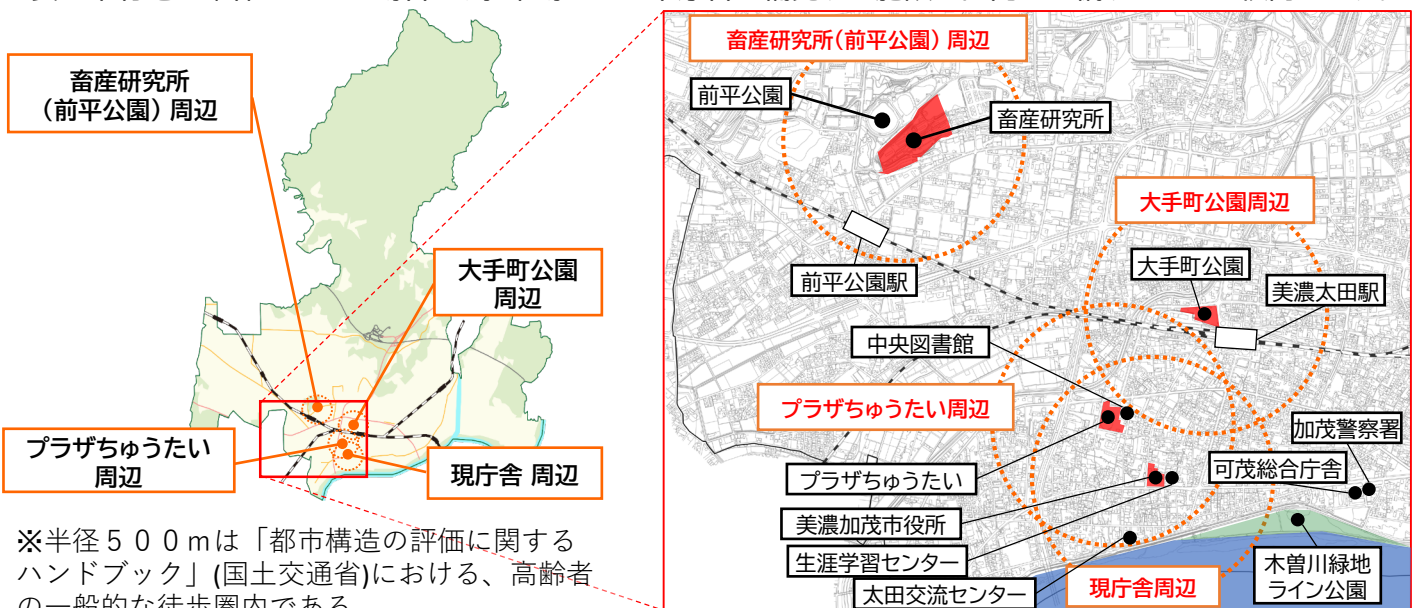
新庁舎の役割と重点機能の位置づけ



STEP6「複数候補地の決定」

第3回市民ワークショップ結果をもとに整理した複数候補地案のうち、市民4,000人アンケート結果の上位4候補地を新庁舎整備の複数候補地として決定しました。

半径500mの円の中心にある市有地に本庁舎を整備することを想定し、可能性調査を実施します。なお、必要な市有地が確保できない場合は、駐車場などの本庁舎を補完する施設を円内で整備することを検討します。



※半径500mは「都市構造の評価に関するハンドブック」(国土交通省)における、高齢者の一般的な徒歩圏内である。

新庁舎整備の最新情報はこちら

<https://minokamochosha.jp>

発行者:美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課



みんなの新庁舎
ポータルサイト

市民4,000人アンケート・職員ワークショップ・職員アンケートの概要

市民4,000人アンケート

市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の機能・複数候補地案等について、市民全体の傾向を把握するため、市民4,000人アンケートを実施しました。

市民4,000人アンケートは、美濃加茂市在住の満15歳以上のうち4,000人を対象に令和6年2月に実施し、1,504人の市民の皆様にご回答いただきました。(回答率37.6%)

※この回答人数は統計学上3%未満の誤差で対象市民全体の傾向が把握できるものとなります。

職員ワークショップ・アンケート

現在市役所で勤務する職員から、新庁舎の機能についての意見聴取を行うため職員ワークショップ及びアンケートを実施しました。

職員ワークショップは、令和6年2月に実施し、44人の職員が参加しました。

また、職員アンケートを令和6年3月に実施し、308人の職員が回答しました。

新庁舎の機能に係る結果の抜粋

Q.「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。

※回答者全体の15%以上の回答率の機能

市民4,000人アンケート結果(1~10位)

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	30.6%
2位	わかりやすい案内サインや動線	30.5%
3位	受けられる支援や仕組み	27.3%
4位	災害対策室	24.1%
5位	一次避難所機能	21.9%
6位	災害時活用できる広い駐車場	21.9%
7位	備蓄スペース(緊急物資等)	21.5%
8位	デジタルの申請・書類発行	19.8%
9位	ワンフロアの相談窓口	18.4%
10位	情報セキュリティの強化	15.6%

職員アンケート結果(1~9位)

※市民のために特に必要な新庁舎の機能

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	44.8%
2位	プライバシーの守られる相談ブース	39.3%
3位	わかりやすい案内サインや動線、 案内タッチパネル	37.3%
4位	会議室やミーティングスペース	24.7%
5位	デジタルの申請・書類発行	23.4%
6位	広いトイレ	21.4%
7位	食堂・コンビニ等	18.8%
8位	停電対策(非常用発電設備等)	15.9%
9位	フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間	15.6%

新庁舎の複数候補地に係る結果の抜粋

Q.今までの市民ワークショップで出たご意見を踏まえ、新庁舎の候補地として特に良いと思う候補地を選択してください。

市民4,000人アンケート結果(1~10位)

1位	畜産研究所(前平公園)周辺	39.0%
2位	大手町公園周辺	28.7%
3位	現庁舎周辺	28.1%
4位	プラザちゅうたい周辺	24.8%
5位	みのかも文化の森周辺	15.2%
6位	市保健センター (みのかも健康プラザ)周辺	13.6%
7位	東総合運動場周辺	12.9%
8位	市商業ビル周辺	12.7%
9位	クスリのアオキ新池店西側交差点周辺	12.5%
10位	岐阜県立国際たくみアカデミー周辺	12.0%

上位4か所の選択理由

畜産研究所 (前平公園)周辺	1位.用地が確保しやすい(市有地等) 2位.車でのアクセスがよい 3位.災害に強い
大手町公園 周辺	1位.公共交通機関によるアクセスがよい 2位.車でのアクセスがよい 3位.人が集いやすい
現庁舎 周辺	1位.車でのアクセスがよい 2位.公共交通機関によるアクセスがよい 3位.用地が確保しやすい(市有地等)
プラザちゅうたい 周辺	1位.車でのアクセスがよい 2位.公共交通機関によるアクセスがよい 3位.人が集いやすい